

# 令和2年度 大阪府立福泉高等学校 第1回 学校運営協議会 議事録

令和2年7月31日 14:00～ 於:会議室

## 委員(敬称略)

氏名	所属
山田 博	前帝塚山学院大学AO
佐野 將哉	ハートピア泉北 施設長
井上 雅史	太平寺地区自治会
島木 伸也	堺市立福泉中学校 校長
西村 恵	PTA会長
西口 尚志	同窓会会長
西浦 達雄	放送芸術学院専門学校

## 事務局

氏名	校務分掌等
村田 幸男	教頭
増田 実	事務長
花城 三喜	首席
谷口 政人	教務部長
西川 道治	生活指導部長
山本 勝久	進路指導部長
大木 茂	生徒会部長

### 1 学校長挨拶

・「学校運営協議会」の概説と設立経緯、実施要項、年間計画等の説明。

学校の応援団として、今年度もよろしくお願ひしたい。

### 2 委員長挨拶

・今般のコロナ禍のもと、先生方にも非常な負担がかかっていることと思う。

これまでの当会を振り返りつつ、福泉高校の力となれるよう努めてゆきたい。

### 3 学校運営協議会委員、事務局員自己紹介

### 4 保護者から意見書について 特になし

### 5 学校経営計画について[学校長]

・学校目標には、従来の「No Limit」とともに、新たに「とことん」という言葉を加えた。

・授業については、オープンクラスと称して、若手教員を中心に、相互の授業見学・研究協議を実施している。

また、「授業見学シート」を活用し、先生方にポイントを押さえたアドバイスができるよう工夫している。

・進路指導については、3年間の高校生活を見通した継続的な指導・支援となるようにしている。

・地域とのつながりを大切にする。従来から実施している農園収穫や環境美化活動等を通して貢献してゆきたい。

・若手教員と中堅教員をつなげた育成支援や協働を促進し、教職員の学びにつなげている。

・コロナ禍のため例年の進学フェアと合同説明会が中止となっている中、学校の魅力をさらに発信すべく、WEB版パンフレットを新規作成した。ホームページの学校だより(ブログ)は、校長とともに多くの先生の手でアップされ、福泉の今を発信している。

### ※コロナウィルス関係

・卒業式・入学式のみならず、一斉休校・分散登校等、次々と新しい指示が続き、それらの対応に苦慮してきた。

・今後感染が拡大した場合、一斉休校という形ではなく、WEBでの授業と分散型登校で対応することが示されている。課題は残っているが、第2波第3波に備え、先生方と協議しながら進めてゆく。

・マスク着用については、生徒たちにやや気のゆるみが生徒たちに感じられるが、常に呼びかけをしている。

・PCR 検査の陽性者が出た場合、保健所の指導のもと、休業か否かを判断することとなる。

委員：コロナのおそろしさについては、先生方の中でも見解の相違があると思うので、統一したものを用意したらよい。

委員：実験や実習等のやり方の指針は都道府県によって違いがあるようだが、大阪はどうなのだろう。コロナへの解釈は、世間全体でも嚴重なものからゆるいものまで差が大きい。学校の裁量に任せる部分については、現場の負担につながっていると思う。

委員：教室等の消毒は、その生徒にさせたらよいと思う。・・・指示により教員が実施している。

委員：先生方に過度の負担を強いることは避けてほしい。

## 6 今年度の取組み状況について [事務局]

・教務部：コロナの影響で、年間行事計画に大幅な変更が生じた。約 2 ヶ月の休校分の代替計画もようやくたまった。大きな変更は、体育祭の中止、夏休みを 10 日間、冬休みを 7 日間としたこと。

委員：中学校でも、授業日数の確保のため、いろいろ工夫を必要とした。

・進路指導部：今春の卒業生は、進学者が増加し、就職合格率も優秀、未定卒業数も減少した。現3年生は、就職試験が1ヶ月後ろ倒しになった。今年はコロナ感染の影響もあり、インターンシップ取りやめ、求人数減少、入試制度に多くの変更等、これまでなかった変化がある。就職は昨年と比較し、厳しくなると言われている中、生徒たちも身が引き締まる思いでいる様子である。

・生活指導部：新しい取組みとしては、マスク忘れ生徒への対応、簡易エプロン・フェイスガード作り等を行った。

・生徒会部：新入生歓迎等の催しができなかったが、部活動勧誘は例年と形を変えて実施した。

・その他：出身中学校別の在籍数表について

プール塗装・ブロック塀撤去フェンス設置・体育館空調・調理教室空調の各工事について。（トイレ改修工事は延期、体育館屋上防水工事は未定）

委員：部活動加入の様子はいかがか。・・・一斉休校だったこともあり、今年の1年生の部活動加入率はあまり伸びていない。

## 7 その他

委員：18 歳が選挙権を持つ時代になっている。しかしながら、政治が若い世代に向き合っておらず、若い人たちが理解しにくい言葉でしか語られていない。クリアしなければならない課題があるとは思いますが、高校生たちのための「演説会」のようなものが企画実現できないか。

